

作品名

ペンギンににてる森



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

中学部1年

### <作品について>

#### <題材>

- ・「ペンギンににてる森」 段ボール、色画用紙、お花紙
- ・新緑をイメージした配色を考え、色画用紙や花紙をちぎって貼り付けた。

#### <作者の表現意図より>

- ・一人で一生懸命頑張りました。
- ・葉っぱをつけるのを工夫しました。

幼児児童生徒作品（様式1）

作品名

森のカラフル



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

中学部1年

### <作品について>

#### <題材>

- ・「森のカラフル」 段ボール、色画用紙
- ・新緑をイメージした配色を考え、色画用紙をちぎって貼り付けた。

#### <作者の表現意図より>

- ・カラフルな葉っぱをみてほしい。
- ・雲も作りました。

幼児児童生徒作品（様式1）

作品名

お花が笑ったよ



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

中学部2年

### <作品について>

<題材>

「新緑」折り紙 色鉛筆 マーカーペン

(本人の作品解説)

折り紙をたくさん作るのが大変でした。輪郭をペンでなぞりました。

作品名

びじゅつ しんかんせん



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

中学部2年

### <作品について>

<題材>

「新緑」段ボール 色画用紙貼り付け

(本人の作品解説)

はっぱをななめにしています。はしっているところです。

作品名

やまとくも



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

中学部2年

<作品について>

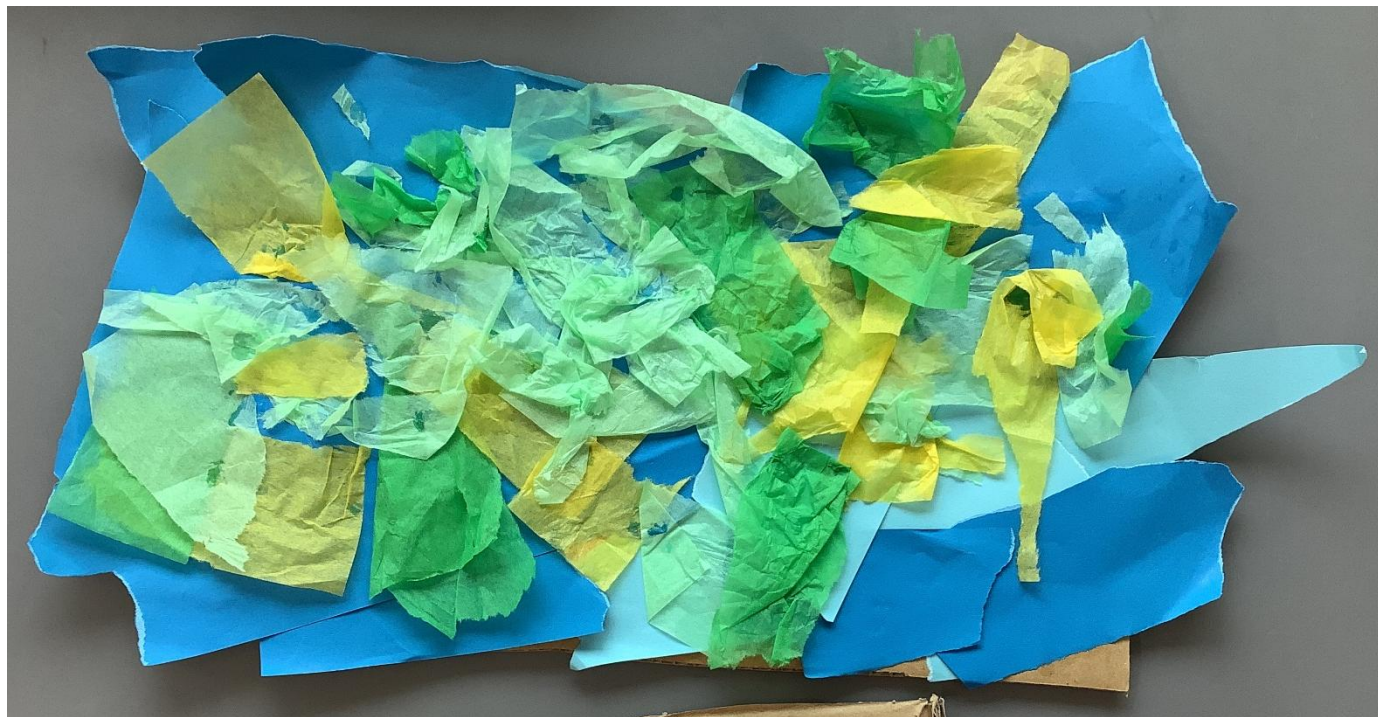
<題材>

「新緑」段ボール 色画用紙貼り付け

(本人の作品解説)

きれいなくもとみずをかきました。

作品名	できました
-----	-------



学校名	猪苗代支援学校
-----	---------

学部・学年	中学部3年
-------	-------

### <作品について>

#### <題材>

- ・「できました」 段ボール、色画用紙、お花紙
- ・新緑をイメージした配色を考え、色画用紙や花紙をちぎって貼り付けた。

#### <作者の表現意図より>

- ・実際に外に出て、新緑を見たりタンポポを摘んだりして、イメージを膨らませた。
- ・力加減を工夫して、花紙がつぶれないようにした。



幼児児童生徒作品（様式1）

作品名

新緑のすべり台



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

中学部3年

### <作品について>

#### <題材>

- ・「しんりよくのすべりだい」 段ボール、色画用紙
- ・新緑をイメージした配色を考え、色画用紙をちぎって貼り付けた。

#### <作者の表現意図より>

- ・校庭のすべり台が好きなので、新緑のみどりとすべり台の赤を選んだ。
- ・教師と一緒に紙をちぎり、段ボールの大きさに合わせて貼る方向を考えて表現した。

幼児児童生徒作品（様式1）

作品名

トマト



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

高等部 1 年

### <作品について>

#### <題材>

- ・「トマト」 鉛筆デッサン
- ・2H～4Bの鉛筆を使い、濃淡表現を練習してから素描した作品です。

#### <作者の表現意図より>

- ・トマトの陰影、反射している光と置いた机に映る影を観察して表現した。トマトや影の形に沿った線と、鉛筆の方向を考えて表現した。

作品名

サワガニ



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

高等部2年

### <作品について>

#### <題材>

- ・「ねんどでつくろう」 材料:陶土
- ・水辺を意識して塗ったコルクボードに、成型して焼いた蟹を貼って構成しレリーフ状に仕上げた作品です。

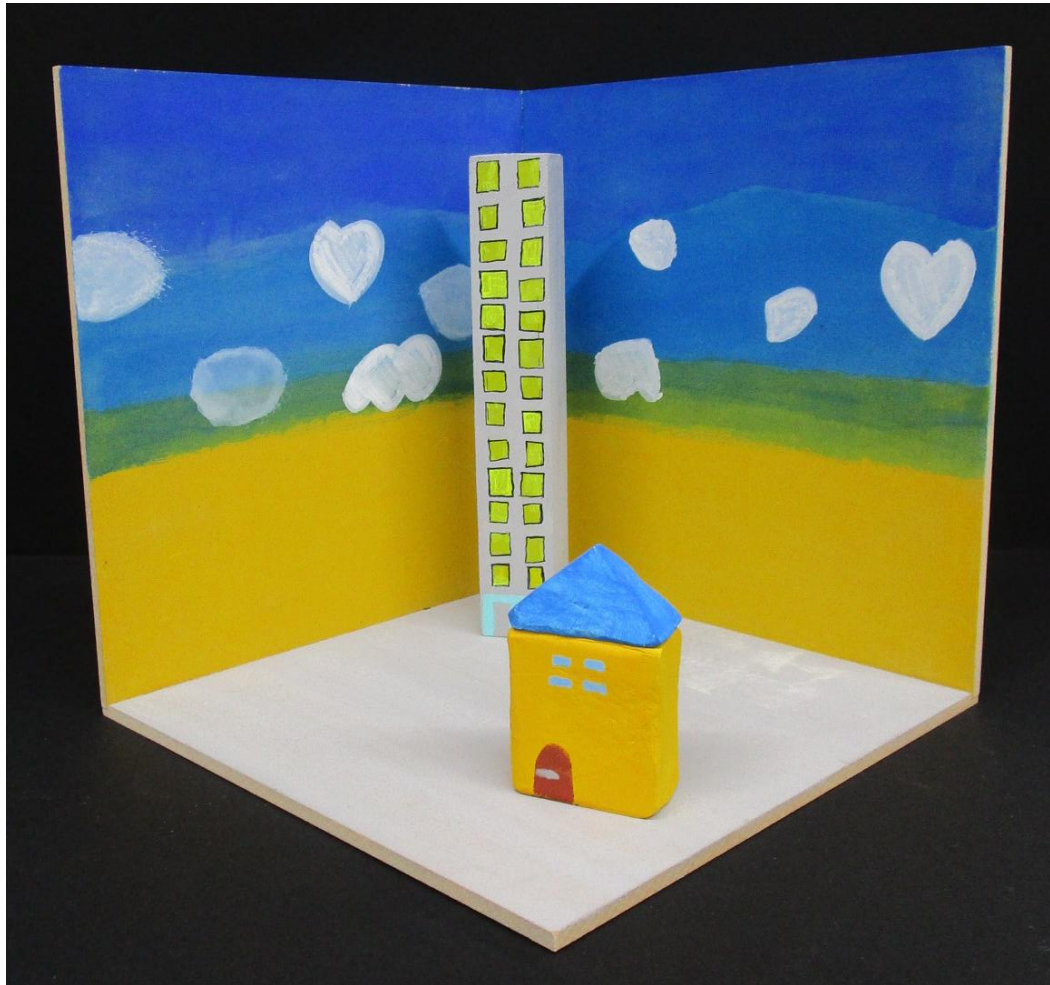
#### <作者の表現意図より>

- ・陶土の感触から、過去に触ったことがあるサワガニを思い出した。
- ・蟹の目、甲羅、ハサミの力強い感じを工夫して表現した。

<p>作品名</p>	<p>電流猫と夜の星を見る輝き</p>
	
<p>学校名</p>	<p>猪苗代支援学校</p>
<p>学部・学年</p>	<p>高等部3年</p>
<p>&lt;作品について&gt;</p> <p>&lt;題材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「線と形で表現しよう」 材料:アクリル絵の具、サインペン</li> <li>・「動物の形(シルエット)」と「線の構成」を組み合わせることで表現した作品であり、作者自身が考えた物語の一場面から発想・構想作品である。</li> </ul> <p>&lt;作者の表現意図より&gt;</p> <p>・物語は1匹の猫と1匹のピューマという動物が主人公です。物語の中で、「星が見たい」といった2匹は、自分たちで開発した電流を流す機械を使って夜空にのぼりました。そして、その電流の力によって、星がさらに輝いていた、という場面です。工夫した点は、絵の中の電流の表現で、模様のようにボールペンで細かく描いたことです。特に大変だったところは、月の猫で、濃い色の猫の形の中に、はっきりとした電流の線を書き込んだことです。</p>	

作品名

朝日の中のビルと家



学校名

猪苗代支援学校

学部・学年

高等部3年

### <作品について>

#### <題材>

・「心の風景」 材料:木材、粘土を使って造形し、アクリル絵の具で着色。

制作時は、「朝日の空の色」を出すために、グラデーションの色彩を試行錯誤しながら表現していました。

#### <作者の表現意図より>

・自分の気持ちをいろいろな雲の形、建物の形や色で表現した。

#### <外部展覧会特選の講評より>

・青空に浮かぶハート形の白い雲、グレーでシンプルな地面に、ビルと家だけが佇んでいます。キュートでほのぼのとした風景でありながら、どこか漂うもの寂しさが、作者の心情を想像させます。